

さて、昨年度、本校は創立 40 年を迎え、11 月 12 日には盛大に記念式典を開催しましたが、残念ながら令和 6 年度の新入生を最後に生徒募集停止となり、令和 9 年の 3 月に、三木北高校は、44 年の歴史に幕を下ろすことが決まりました。これまで、「人と環境の三木北」として、地域に愛され支えられ、ユネスコスクールとして社会に貢献できる人材を育ててきた本校があと 4 年で統合することとなった今、残りの 4 年間で本校はどうすべきかを考えました。そして、本校の使命は最後まで、これまでの教育方針を貫くことであると考え、「最後まで、より三木北らしく」生徒も教職員も皆が輝くことができるようにと、日々教育活動に取り組んでいきたいと考えスタートした令和 5 年度でした。

コロナ禍が収まったこともあって、十分とは言えませんが、学校行事や教育活動も制約も小さくなり、ずいぶんやりやすくなったこともあって、まずまずのスタートが切れたように感じています。

最後まで三木北らしくという中で、私も、今年度で校長としての最終年を迎え、私も「最後まで自分らしく」教員生活を送りたいと思って過ごしてきました。

自分らしく生きることとは、自分の気持ちに正直に生きていくことです。他人の評価を気にすることなく、自分の楽しいと思うことややりたいことを自ら選択していく生き方のことです。自分らしく生きること達成感もあり自己肯定感も増すと思います。

今の世の中、周りの目や意見を気にするがあまり、窮屈な苦しい思いをしながら生きていかなければならない世の中になってしまっていると思います。また、自分らしく生きるといえば、わがままなイメージを持つかもしれませんが、決してそうではないと思います。

夏休みを迎える皆さんに、自分らしく生きるために必要なことをお伝えしたいと思います。

例えば自分らしく、毎日楽しく笑顔で過ごすためにはどうしたら良いのか？

進学や就職に関して、行きたい大学に行って興味関心があることを学ぶためには、就きたい仕事に就くためには、何をしなければならぬのか？

好きな部活に打ち込んで、達成感を得るためには何を心がける必要があるのか？

皆さんは自分らしく生きるために何が必要なかわかりますか？

それは、具体的な目標と計画だと思います。この夏休みを過ごした結果、自分はどうなっていたのか、半年後の卒業の段階で、自分はどうなっていないといけないのか。夢や目標がしっかりしていないと、自分らしさを失い、それに向かって努力をすることはできません。また、夢や目標を実現するための計画をしっかり立てていないと継続することはできません。

自分らしく生きるというのは、目標に向かって、計画的に毎日努力を継続して行うということです。40 日後には、自分らしく生きることで、少し成長した皆さんに再会したいと思います。

最後に、この夏休みの間、何か困ったことや辛いこと、苦しいことがあったら、家族のことや、友達のこと、自分の健康面や精神面での悩みや相談など、一人で抱え込まずに、話しに来てください。

担任、部活の顧問、誰でもかまいませんので、愚痴るだけで楽になることもあります。話をすることで頭が整理でき解決できることもあります。校長室は、いつでもクーラーをかけて冷たい麦茶で歓迎します。くれぐれも健康には注意して過ごしてください。

2 学期に、お互い元気に再会しましょう。